



牛王加持印を頭などに押しもらい、
無病息災や健康回復を願う参拝者

|| 天童市・若松寺

額にべったん 無病息災祈る

天童 若松寺で伝統行事「鬼やらい」

最上三十三観音第一番札所の若松寺（天童市、氏家栄脩住職）で29日、鬼を集めて観音菩薩（ぼさつ）の前で改心させるという、奈良時代から伝わる伝統行事「鬼やらい」が行われた。

約170人の参拝客が訪れた。氏家住職ら若松寺一山の僧侶8人が、国指定重要文化財の観音堂で約1時間にとわたり、人の心の中に巣くう貪欲や怒りといった鬼たちを、本尊の観音菩薩の前でざんげさせるため読経。続いて1594（文禄3）年から寺に伝わる木製の宝印「牛王加持印」（ごおうかじいん）を参拝客の

頭や胸、腹、目などに押し、
無病息災や家内安全、交通
安全、良縁成就などを祈願
した。